

1. 内政

(1) 次期大統領選挙関連(世論調査結果除く)

- (イ) 7月12日、EU技術ミッションは、選挙プロセスの状況把握のため、当地を訪問し、政府、政党、市民団体等と会談した。
- (ロ) 7月16日、選挙倫理規則が承認された。
- (ハ) 7月18日、最高選管の近くで、Rejudin(国家尊厳抵抗運動)の主要メンバーのひとりが、JS(サンディニスタ青年同盟)のシンパに殴打され、負傷する事件が発生した。
- (ニ) 7月23日・24日、138の市で、また、30日・31日には15の市で選挙人台帳の確認が行われた。
- (ホ) 7月25日、国際NGOアムネスティ・インターナショナルは、当地を訪問し、オルテガ候補を除く4人の候補者等と人権擁護について意見交換をした。
- (ヘ) 7月29日、最高選管は、PLIの国会議員候補ホエル・リーラ及びベンハミン・グロスの2名を候補者リストより削除した。
- (ト) 8月8日、投票に必要な身分証明書の新規申請期間が終了した。また、右申請期間終了を前に8月4日から、北部のサンフェルナンドにて、身分証明書未受領の市民らが身分証明書の発行を求め抗議行動を開始した。また、北部のシウナにおいても、身分証明書の発給を求め、道路封鎖が行われた。
- (チ) 8月10日、マナグアのサントドミンゴ祭にて、ALN(キニヨネス大統領候補)と反ALN支持者の間で騒動が勃発し、発砲したキニヨネス候補のボディガードが逮捕された。
- (リ) 8月12日、最高選管はPLIの国会議員候補マキシミノ・ロドリゲスを候補者リストより削除した。これにより候補者リストより削除された候補者は3人となった。
- (ヌ) 8月16日、最高選管は選挙監視規則(選挙同行規則)を発表した。
- (ル) 8月19日、オルテガ大統領は、国家四権の長等と共に集会を開き、投票を呼びかけた。
- (ヲ) 8月20日、選挙キャンペーンが開始された。
- (ワ) 8月26日、最高選管は、選挙キャンペーン関連で公共の場所を使用する際の許可申請手続き業務を国家警察に委譲することを発表した。
- (カ) 8月30日、EUは政府及び最高選管と選挙監視規則(選挙同行規則)の内容に関する協議を開始した。

(2) 次期大統領選挙世論調査結果

(イ) 7月4日、「EL 19 Digital」(ネット版政府公報紙)は、大統領選挙関連の世論調査結果を発表した。

○現時点でどの大統領候補に投票するか。

オルテガ候補(FSLN)	50.8%
ガデア候補(PLI-UNE)	17.4%
アレマン候補(PLC-PC)	9.0%
キニヨネス候補(ALN)	1.5%
支持を明確にしない	18.9%

(ロ) 7月25日、M&R社は大統領選挙関連の世論調査結果を発表した。

○現時点で大統領選挙が行われたらどの候補に投票するか。

オルテガ候補(FSLN)	56.5%
ガデア候補(PLI-UNE)	14.1%
アレマン候補(PLC-PC)	5.8%
キニヨネス候補(ALN)	0.6%
無回答	22.4%

(ハ)8月4日、Cid-Gallup社は大統領選挙関連の世論調査結果を発表した。

○現時点で選挙が行われたらどの候補に投票するか。

オルテガ候補(FSLN)	41%
ガデア候補(PLI-UNE)	34%
アレマン候補(PLC-PC)	11%
無回答	14%

(3)その他

(イ)7月上旬、No Pago(北部生産者・商業者運動)が、マイクロ・ファイナンス関連銀行との債務に係る団体交渉等を求め、道路を閉鎖するとともに、これら銀行に対する直接行動に訴えたとの発言を行った。

(ロ)7月19日、ニカラグア革命32周年記念式典が行われた。その中で、オルテガ大統領及びムリージョ大統領夫人より、アミンタ・グラネラ国家警察庁長官の再任及び次期政権では、現行の社会経済プランがより充実した形で継続されることを示唆する発言があった。

(ハ)8月9日、オルテガ大統領は中米議会の議長と副議長、中米裁判所長と会談した。

2. 外交

(1)7月1日、オルテガ大統領は、療養中のチャベス・ベネズエラ大統領に対して見舞い状を送付した。

(2)7月4日、オルテガ大統領は、米国の235周年独立記念日に際して、米国政府と米国国民に対して祝辞を送付した。

(3)7月7日、コロネル副外相は、本邦で開催された第14回日・中米「対話と協力」フォーラムに出席した。

(4)7月11日、コロネル副外相はエルサルバドルで開催されたSICA外相・副外相会合に出席した。

(5)7月20日、米国下院外交委員会は、ニカラグアを含むALBA諸国に対する支援を削除する修正案を承認した。

(6)7月22日、オルテガ大統領は、エルサルバドルで開催された第37回SICA首脳会合に出席した。

(7)7月23日、オルテガ大統領は、キューバにて治療中のチャベス・ベネズエラ大統領及びカストロ議長と会合を持った。

(8)7月23日、フランス政府は、アントニー・ジョリィ次期駐ニカラグア大使の任命を発表した。

(9)7月24日、コスタリカ政府は、ニカラグアが国際裁判所の判決に従っていないとして、予定していた次期アドリアナ・ブラド駐ニカラグア大使の派遣を一時中断する旨発表した。

(10)7月27日、オルテガ大統領は、カダフィ・リビア最高指導者から革命32周年の祝辞を受領した。

(11)7月28日・29日、マナグアにて第10回IMF・中米・ドミニカ共和国地域会議が開催され、各国の財務大臣及び中銀総裁等が出席した。

(12)7月29日、米国はニカラグアに対し、ニカラグアにおける米国市民の土地所有権に関し、1年間のウェイバーを与えた。

(13)8月8日、ホンジュラス政府は、ニカラグア政府よりマリオ・ホセ・デュアルテ氏を次期駐ホンジュ

ラス大使とする信任状を受領したと発表した。

(14)8月11日、ニカラグアはALADI(ラテンアメリカ統合連合)に加盟した。

(15)8月17日、米国議会が派遣した議会スタッフがマナグアを訪問し、リバス最高選管委員長及びサントス外相等と会談した。

(16)8月19日、カラソ副大統領は、エルサルバドルで開催された第3回SICA-CARICOM首脳会合に出席した。

(17)8月22日・23日、ジェンスケ外務次官は、アルゼンチンで開催された第5回FEALAC外相会合に出席した。